



宮の森中だより

札幌市立宮の森中学校
第10号 (379号)
令和7年3月14日発行



HPはこちら

「努力の壺（つぼ）」

「人が何かを始めようとか、今までできなかったことをやろうと思ったとき、神様から努力の壺をもらいます。その壺はいろんな大きさがあって、人によって、時には大きいのやら小さいのやら、いろいろあります。そしてその壺は、その人の目には見えないのです。」

でも、その人が壺の中に一生懸命『努力』を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか『努力』が溢れるとき、壺の大きさが分かるというのです。

だから、休まずに壺の中に『努力』を入れていけば、いつか必ずできる時が来るのです。」



「タイパ（タイムパフォーマンス、時間対効果）が大事」などと言われるご時世ですが、何かを身につけるには必ず努力が必要であり、その努力は時間がかかるものです。学習でも、皆さんにはその場しのぎの学力ではなく、ずっと先まで活かせるような本物の学力を身に付けてほしいと願っています。（令和6年度「進路だより」第33号より抜粋）

3月10日（月） 後期教科実践発表の日、大成功！



3月10日（月）、日頃の学習の成果を、全校生徒（異学年間）で交流し、学年の枠を超えて学びを深め合い、認め合うことをねらいとした、教科実践発表が行われました。

後期の発表は、社会科「全校模擬裁判」、美術科「自分を見つめ表そう作品プレゼン」、保健体育科「ダンスパフォーマンス」、総合的な学習の時間「探究学習異学年発表交流会」、5組・各学年「作品展示会」の5本立てです。

どの発表も熱のこもったものばかりで、まさに宮中今年のテーマ「つながりと挑戦」を体現した、素晴らしい内容でした。特に3年生の発表は、1、2年生のお手本となるものばかりでした。

お忙しい中ご来校いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



宮の森中3学期の多様な学びを紹介します！



○スキー学習（札幌ばんけいスキー場）

1月下旬、1、2年生と5組は、2回ずつのスキー学習を実施しました。当初は雪不足が心配されましたが、前日に恵みの「雪」が。コンディションに恵まれ、皆さん、とても楽しそうに参加していました。



○異学年教師道徳

1月から2月にかけて計3回、他学年の先生方と学ぶ道徳が行われました。いつもとは少し違う雰囲気、生徒の皆さんは緊張していたようでしたが、すぐにいつもの活発な姿に。

様々なテーマについて、仲間と思いや考えを交流していました。

○5組作業製品即売会（円山動物園）

2月25日（火）、円山動物園の動物科学館の施設を会場に、5組の皆さんが授業で製作した作品の展示即売会を開催しました。大倉山小、三角山小の特別支援学級の皆さんとの交流も行われ、とても楽しそうに取り組んでいました。



○美術校外学習（札幌彫刻美術館）

3月4日（火）は、本郷新記念札幌彫刻美術館にて、3年生美術の校外学習を行いました。迫力満点のホンモノの作品に触れながら、小学校時代とは違った視点で鑑賞していました。穏やかな中に充実した学びのある時間でした。

○理科校外学習（札幌青少年科学館）

3月7日（金）は、本校STEAM教育（実学的な学び）の一環として、1年前にリニューアルした札幌市青少年科学館にて、3年生理科の学習。楽しさの中にも探究的な学びがたくさんある時間になりました！



除雪ボランティア

参加した生徒の皆さん、ご協力ありがとうございました！

2/20（木）に「札幌市雪かきチョボラ」の一環として行われました除雪ボランティア、30名以上の生徒の皆さん、先生方や用務員さん、札幌市建設局雪対策室の方々が参加してくださいました。楽しく地域に貢献しながら、さわやかな汗をかけた1日になりました！

